

静脈圧の上昇等のうっ血の減退も明らかであったと報告されている(表11)。これらはすべて循環動態の改善を示す所見である。付随的效果として胸部レ線像(肺うっ血、心室像の拡大)の改善、期外収縮の改善、さらには血圧の低下、狭心症の軽減化が認められているが、心房細動のような固定的不整脈は概して消失しなかったと報告されている。センソ服用中の副作用として特記すべきものは認められていない。

以上の所見より、センソは心不全に対して有効な薬剤であり、その作用様式からみてジギタリスに類似かつ匹敵するものと位置づけられ、ジギタリスの維持療法に充分代わりうるものと結論されている<sup>76)</sup>。

### おわりに

「救心」の薬理作用、安全性、臨床上の有効性について紹介してきたが、「救心」の薬理作用の特徴は、血圧および心筋酸素消費量に影響を与えることなく強心作用、呼吸興奮作用、利尿作用を発揮する点にあるといえよう。また、「救心」はジゴキシンに比べ安全域が広いことも示され、一般用の薬としての適性を備えた薬剤であるとして評価される。臨床的に「救心」は軽度から中等度のうっ血性心不全を、これといった副作用を発現させることなく改善し、さらに、低酸素下のいわゆる高所障害をも改善することが示され、使用経験によって有効性が保証されてきた伝統薬の1つである「救心」が、現在の科学水準に合った方法によって検証してもその有効性を保証できるものであることが明確にされた。

### 謝 辞

図2～9および表1, 2を引用する許可をいただきましたThe American Journal of Chinese Medicine, Inc., P. O. Box 555, Garden City, N. Y. 11530に深謝いたします。

### 文 献

1) “中薬大辞典”, 上海学術出版社, 小学館, 東京, 1985, pp. 1521~1524

- 2) “中薬大辞典”, 上海学術出版社, 小学館, 東京, 1985, pp. 787~790
- 3) “中薬大辞典”, 上海学術出版社, 小学館, 東京, 1985, pp. 1129~1131
- 4) “中薬大辞典”, 上海学術出版社, 小学館, 東京, 1985, pp. 2738~2739
- 5) “中薬大辞典”, 上海学術出版社, 小学館, 東京, 1985, pp. 1809~1811
- 6) 中山医学院編, 神戸中医学研究会訳・編“漢薬の臨床応用”, 医歯薬出版, 東京, 1979, pp. 417~424
- 7) 松原利行ほか: 応用薬理, 38, 71~78, 1989
- 8) 須賀俊郎: 代謝, 10, 762~774, 1973
- 9) 日本生薬協会・大阪生薬協技術部会, 資料
- 10) 山添 胖ほか: 奈良県薬事指導所報告, 6, 1~13, 1977
- 11) 高橋真太郎ほか: 薬学研究, 32, 523~529, 1960
- 12) 志甫伝逸ほか: 薬学雑誌, 83, 882~885, 1963
- 13) 木村捷二郎ほか: 生薬学雑誌, 35, 26~32, 1981
- 14) 高野伊知郎ほか: 東京衛研年報, 37, 73~78, 1986
- 15) 木村正康ほか: 薬学雑誌, 86, 877~882, 1966
- 16) 高木敬二郎ほか: “和漢薬物学”, 南山堂, 東京, 1982, pp. 124~126
- 17) 難波恒雄: “原色和漢薬図鑑(下)”, 保育社, 大阪, 1980, pp. 283~285
- 18) “第12改正日本薬局方解説書”, 広川書店, 東京, 1991, pp. D-714~D-721
- 19) “中薬大辞典”, 上海学術出版社, 小学館, 東京, 1985, pp. 2280~2282
- 20) 高木敬二郎ほか: “和漢薬物学”, 南山堂, 東京, 1982, pp. 242~244
- 21) 難波恒雄: “原色和漢薬図鑑(下)”, 保育社, 大阪, 1980, pp. 307~309
- 22) Morishita, S. et al.: Am. J. Chinese Med., 20, 1992 (印刷中)
- 23) Morishita, S. et al.: Am. J. Chinese Med., 20, 83~89, 1992
- 24) 重井達朗ほか: 応用薬理, 15, 437~445, 1978
- 25) 水野 康ほか: 基礎と臨床, 12(4), 961~980, 1978
- 26) 水野 康ほか: 基礎と臨床, 13(5), 1692~1720, 1979
- 27) Ojiri, Y. et al.: Am. J. Chinese Med., 19, 17~31, 1991
- 28) Ojiri, Y. et al.: Am. J. Chinese Med., 20, 147



- ~155, 1992
- 29) Sakanashi, M. et al. : Am. J. Chinese Med., **20**, 1992 (印刷中)
- 30) 今井昭一 : 心臓, **4**, 1539~1547, 1972
- 31) Gousious, A. G. et al. : Circ. Res., **21**, 445~448, 1967
- 32) Shoji, M. et al. : Am. J. Chinese Med., **20**, 1992 (印刷中)
- 33) 筒井高紀 : 札幌医誌, **8**, 109~119, 1955
- 34) 西田 博 : 北海道医学雑誌, **50**, 34~41, 1975
- 35) 小林芳人 : 日本薬物学雑誌, **39**, 134~156, 1943
- 36) Morishita, S. et al. : Am. J. Chinese Med., **20**, 1992 (印刷中)
- 37) 片野由美ほか : 薬局, **26**, 1447~1454, 1975
- 38) Gaffney, T. E. et al. : J. Pharmacol. Exp. Ther., **122**, 423~429, 1958
- 39) Zipf, H. F. et al. : Arch. Exp. Path. Pharmac., **212**, 529~541, 1951
- 40) Zipf, H. F. et al. : Arch. Exp. Path. Pharmac., **219**, 64~75, 1953
- 41) Nadeau, R. A. et al. : Circ. Res., **13**, 388~391, 1963
- 42) Mendez, C. et al. : J. Pharmacol. Exp. Ther., **131**, 191~198, 1961
- 43) Hoffman, B. F. et al. : "The Pharmacological Basis of Therapeutics", The Macmillan Company, New York, 1985, pp. 716~747
- 44) 笠貫 宏 : 治療, **63**, 1009~1016, 1981
- 45) 渡辺良夫ほか : "新薬開発のための動物モデル利用集成", R&D プランニング, 東京, 1985, pp. 166~167
- 46) Lindenbaum, J. et al. : N. Engl. J. Med., **285**, 1344~1347, 1971
- 47) 高木 誠 : 薬局, **26**, 689~695, 1975
- 48) 松尾博司 : 治療, **63**, 1067~1070, 1981
- 49) 外山淳治ほか : 日本臨床, **43**, 2404~2410, 1985
- 50) 森下信一ほか : 日薬理誌, **86**, 269~292, 1985
- 51) 森下信一ほか : 日薬理誌, **87**, 361~378, 1986
- 52) 平井康晴ほか : 日薬理誌, **100**, 127~135, 1992
- 53) 水重克文ほか : 現代医療, **18**, 732~735, 1986
- 54) Akera, T. et al. : Pharmacol. Rev., **29**, 187~220, 1977
- 55) Shigei, T. et al. : Experientia, **27**, 415~416, 1971
- 56) Shimada, K. et al. : J. Pharmacobio-Dyn., **8**, 1054~1059, 1985
- 57) 東間章二ほか : 薬学雑誌, **111**, 676~686, 1991
- 58) 江口昇安 : 日薬理誌, **67**, 362~373, 1971
- 59) Greenspan, A. M. & Morad, M. : J. Physiol., **253**, 357~384, 1975
- 60) Muller, P. : Circ. Res., **17**, 46~56, 1965
- 61) Ito, M. et al. : J. Pharmacol. Exp. Ther., **172**, 188~195, 1970
- 62) 救心製薬(株), 社内資料, 1992
- 63) Morishita, S. et al. : Phytotherapy Res., 1992 (受理)
- 64) Saito, H. et al. : "Stress ; The Role of Catecholamines and Neurotransmitters", Gordon and Breach, New York, 1984, pp. 467~480
- 65) Morishita, S. et al. : Gen. Pharmacol., **18**, 253~261, 1987
- 66) 木村正康ほか : 薬学雑誌, **98**, 466~472, 1978
- 67) 森下信一ほか : 日薬理誌, **91**, 129~140, 1988
- 68) 只木英子 : 航空宇宙医学心理学, **7**, 10~16, 1969
- 69) 御手洗玄洋ほか : 臨床薬理, **13**, 515~527, 1982
- 70) 馬淵千之ほか : 基礎と臨床, **16(8)**, 4218~4226, 1982
- 71) 御手洗玄洋ほか : 基礎と臨床, **16(8)**, 4227~4234, 1982
- 72) 中島光好ほか : 臨床薬理, **13**, 529~538, 1982
- 73) 中島光好ほか : 臨床薬理, **13**, 539~546, 1982
- 74) 大石 洋ほか : 基礎と臨床, **16(9)**, 4836~4840, 1982
- 75) 水野 康ほか : 基礎と臨床, **16(12)**, 6823~6862, 1982
- 76) 築山義雄ほか : 基礎と臨床, **16(6)**, 3391~3399, 1982

\* \* \*